

Y30b 天文用語の発音調査

佐藤 勲 (宇宙用語研究会)

外国人に対する発音調査などにより、天文用語の発音調査を行い、誤った表記をされているものが多数あることがわかった。その代表的な例としては、「ハレー彗星」、「ハートレイ彗星」、「シューメーカー・レビー彗星」、「マウンダー極小期」などがある。これらは、「ハリー彗星」、「ハートリー彗星」、「シューメーカー・リビー彗星」、「モーンダー極小期」が正しい。このような不適切な表記が広まった大きな原因は、大学研究者にこの問題について詳しい人がおらず、外国語に詳しくないアマチュア天文家が天文雑誌等に行った記事の表記を学会が問題視することなく、放置されてきたことにある。

また、これまでに番号登録された約 36 万個の小惑星のうち、命名されたものは約 18000 個で、内訳は、英語 33 %、日本語 11 %、ドイツ語 10 %、ロシア語 7 %、フランス語 6 %、イタリア語とラテン語が 5 % など。これらの半数以上について、外国人に対する発音調査が終わっている。

人の名前を間違えて呼ぶことは、本人に対する人権侵害や、読者に対する不実記載という法律的な問題を生ずるおそれがある。特に、テレビやラジオの放送では、放送法違反となる。理科の教科書やマスコミで長年にわたって「ハレー彗星」という間違った呼び方がされてきたことは、1 億 2000 万人の国民に対して間違った事実を伝えたという重大な問題を引き起こしている。

詳しい調査結果については、JANNET のホームページを参照されたい。

<http://homepage2.nifty.com/mp6338/JANNET.html>